

平成28年度第2回佐倉市青少年問題協議会会議概要

会議名	平成28年度第2回佐倉市青少年問題協議会会議概要
開催日時	平成29年1月25日(水) 14時00分～14時45分
開催場所	佐倉市役所議会棟 全員協議会室
出席者	<p> 蕨 和雄会長 : 佐倉市長 茅野達也副会長 : 佐倉市教育長 利根基文委員 : 佐倉市副市長 関山邦宏委員 : 佐倉市教育委員会教育長職務代理者 織田泰暢委員 : 佐倉市健康こども部子育て支援課長 小林愛子委員 : 千葉家庭裁判所佐倉支部長 剣地平子委員 : 民生委員・児童委員協議会副会長 佐藤英男委員 : 保護司会佐倉市分会顧問 兼坂 誠委員 : 佐倉市社会福祉協議会事務局長 市村尚義委員 : 佐倉市立佐倉東小学校長 中臺信夫委員 : 佐倉市立臼井中学校長 石井久雄委員 : 千葉県立佐倉西高等学校長 岩崎久美子委員 : 佐倉市青少年相談員連絡協議会会計 杉戸一寿委員 : 印旛健康福祉センター長 秋本良治委員 : 少年警察ボランティア協議会佐倉地区担当 片岡正臣委員 : 佐倉市青少年育成市民会議会長 阿部アオイ委員 : 佐倉市子ども会育成連盟副連盟長 富永三咲委員 : 佐倉市体育協会理事長 遠藤知子委員 : 佐倉市スポーツ推進委員副会長 梅田美知子委員 : 佐倉市人権擁護委員 平間 修氏 : 佐倉市教育委員会指導課指導主事(諸根彦之委員 代理) 木村雅浩氏 : 千葉県立佐倉東高等学校教頭(安西啓雄委員 代理) </p> <p> 事務局 青木健康こども部長、櫻井児童青少年課長、 児童青少年課 小川主査、能崎主査補 </p>
傍聴者	なし
会 議	<p> <input type="checkbox"/>開 会 1 開 会 2 市長あいさつ(蕨佐倉市長) 3 委嘱状交付・新委員紹介(剣地平子委員:民生委員・児童委員協議会副会長) </p> <p> <input type="checkbox"/>審 議(蕨会長議長) </p> <p> 1. 第3次佐倉市青少年育成計画について 計画概要・策定の経緯について事務局より説明 </p> <p> <input type="checkbox"/>蕨会長 計画案についてご意見がある方はお願いいたします。 </p>

○関山委員（佐倉市教育委員会教育長職務代理者）

新たに計画に加えられた課題は、今の社会情勢に鑑みて妥当なものと考えます。
表現方法などで、気になる点が4点あります。

①11P主な施策で「学習指導要領に基づく基礎的な学習の一部……」とありますが
学習は、基礎事項と基本事項がともに大事なもののなので、基本的な学習を加えて
いただきたい。

②19P主な施策で「相談窓口の啓発に努めます」とありますが、抽象的で分かりに
くいです。

③30P 1世帯当たり人数のグラフが、数値とあっていない。

④17Pの現状と課題で「佐倉市いじめ防止基本方針を策定」のところには、策定年
を加えた方が前後とのバランスがとれると思います。

○小林委員（千葉家庭裁判所佐倉支部長）

特にありません。

○釧地委員（民生委員・児童委員協議会副会長）

特にありません。

○佐藤委員（保護司会佐倉市分会顧問）

犯罪・非行防止についての記載があるとよいと思います。

○事務局 櫻井課長

青少年の非行・犯罪防止と立ち直り支援について21Pに基本方策として取り上げ
ました。

○兼坂委員（佐倉市社会福祉協議会事務局長）

社会福祉協議会では、大きな柱の2つめの「困難を抱える子ども・若者やその家
族の支援」として、様々な支援を行っておりますが件数も増加して複雑化してきて
いる。支援について具体的な記載があればよいと思います。また、3つ目の柱であ
る「子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり」では、地域の皆さんとの関係
をどのように構築するか具体的に示せれば良いと思います。

○市村委員（佐倉市立佐倉東小学校長）

柱のI「子ども・若者の健やかな育成」については、学童期の小学校にとっては重
要なものと考えます。ボランティア活動の推進について基本方策①と③で重複する
ところがありますが、どのように考えていますか。

○事務局 小川

ボランティア活動につきましては、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定
により子ども・若者の参加機会が増加することを期待して新たに方策として追加し
ました。

○中臺委員（佐倉市立臼井中学校長）

新たに追加された施策の中で、ボランティア活動の推進とスマートフォン・インタ
ーネット等情報化社会への対応については、学校としても課題であったので取り上
げていただいております。

○石井委員（千葉県立佐倉西高等学校長）

高等学校は、特に柱のⅠ「子ども・若者の健やかな育成」において一端を担っているものと考えています。本校では来年度より「福祉コース」を新設いたします。若者の就労等支援や社会参画の促進などと重なりますが、県内の数校で高齢者福祉への対応として県とともに進めております。介護の仕事について親の意識が厳しく若者が、なかなか目を向けられないという状況もあるような気がいたします。20年後30年後には、今の状況が変化することを思い、新たな仕事に目を向けるようになって欲しい。将来に夢を抱けるような職業として目を向けて欲しいと思います。その為にも、今回の計画で取り上げていただいたことは、ありがたいです。

○木村氏（千葉県立佐倉東高等学校教頭）

18Pの「外国人の子ども・若者への支援」に関連して、本校の定時制では現在外国籍の生徒が20名程在籍しており、その中には日本語の話せない生徒もいるため毎週火曜日に授業前に日本語教室を行っております。これからも外国人の子ども・若者が増えていくことが予想されます。生徒だけでなく保護者へのサポートも考えなければいけないと考えます。

○岩崎委員（佐倉市青少年相談員連絡協議会会計）

特にありません。

○杉戸委員（印旛健康福祉センター長）

薬物乱用について、県でも対策をしていますが、大人になってからでは脱却しづらいので子どもの頃からの防止施策は、大変ありがたいです。また、「子ども若者の虐待防止・保護」のなかで、最近デートDVという問題も出てきているので記載いただきたい。

○事務局 櫻井課長

基本方策①「日常生活力と学力・体力の向上」のなかで、人権や男女平等参画への意識づくりの施策として取り上げております。

○秋本委員（少年警察ボランティア協議会佐倉地区担当）

少年警察ボランティアで、定期巡回を実施していますが、佐倉市の青少年は落ち着いた状況にあります。

○片岡委員（佐倉市青少年育成市民会議会長）

よくできていますので、この施策に沿って活動してまいります。

○阿部委員（佐倉市子ども会育成連盟副連盟長）

特にありません。

○富永委員（佐倉市体育協会理事長）

幅広い内容を網羅してよくできていると思います。ポスト青年期の39歳までを対象としていると知って驚いています。前回の会議で提言させていただいたまちづくり協議会・自治会・学校・団体が連携する必要性について示されていてよかったです。

○遠藤委員（佐倉市スポーツ推進委員副会長）

広い範囲についてカバーしており良いと思います。

○梅田委員（佐倉市人権擁護委員）

特にありません。

○蕨会長

他にありませんか。

無いようですので、皆様からいただいたご意見を可能な限り組み込んでいただきたいと思います。事務局よろしく願いいたします。

以上で、本日本日予定しておりました議題の審議は終了いたしました。

□その他

○蕨会長

委員の皆様から伝達事項等はありませんか。

無いようですので、事務局から連絡事項をお願いします。

○事務局 櫻井課長

会長からお話があったとおり、皆様からいただいたご意見は、市の担当部署とも調整した上で、可能な限り反映させてまいりたいと思います。

今後は、2月のパブリックコメントを実施した後に29年度からの計画執行を予定しております。

○蕨会長

それでは、これもちまして私の議長としての役目を終えさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

○事務局 櫻井課長

これもちまして、平成28年度第2回青少年問題協議会を、終了いたします。

ありがとうございました。